

## 5. RSL分析試験

多くのブランドには、特定のRSLの分析試験に関する要求事項があります。もし貴社の顧客に分析試験の要求事項が無い場合、AFIRMでは、全てのサプライヤーが独自の試験プログラムを開発することをお勧めします。付表Bには、あるブランドの試験プログラムを載せています。これはブランドの視点から作られており、試験における問題点を理解するうえで役に立つでしょう。もし貴社の顧客に分析試験の要求事項が無い場合、サプライヤーは供給元が試験プログラムに基づきRSLへの準拠を確かめているということを信頼することを推奨しますが、検証もするようにしてください。

### ブランドが認定した検査機関

一般的に、ブランドには認定検査機関のリストがあります。試験用サンプルは、ブランドが認定した検査機関にのみ送らなければなりません。

### 検査機関を選定するための基準

もし貴社の顧客に認定検査機関のリストがなければ、貴社独自の試験用の検査機関を選定するための、いくつかの留意事項をあげておきます。

- その検査機関には、証明書または認定を保持していますか？誰が認定していますか？（認定は、2008年8月14日に施行された米国消費者製品安全改良法により要求されています。）
- その検査機関は、GLP(Good Laboratory Practice)やISO17025のガイドラインに基づいていますか？
- その検査機関には、品質方針や、その他一般的な品質手順を記載したドキュメントがありますか？
- 最近の外部監査の日付と結果は？その報告書は確認できますか？
- その検査機関は、民間の品質保証団体に所属していますか？
- その検査機関は、定期的にラウンドロビン・テスト(試験所間の比較試験)や、ブラインドサンプル試験などに参加していますか？
- その検査機関は、現地視察や監査のために施設を公開していますか？

- 社内の手順がマニュアルで文書化されていますか？それらは、顧客には利用可能ですか？
- その検査機関は、過去に認定を拒否されたり、取り消されたりしたことがありますか？
- 学位や資格などを含む、主要な科学者のリストはありますか？
- 現場での主要な分析機器のリストはありますか？
- その検査機関が日常的に実施している参照方法のリストはありますか？
- サンプルの取り扱いや前処理能力のリストはありますか？
- その検査機関は、1ヶ月または1年間でおよそ何件の分析を行いますか？
- その検査機関の分析件数の、何パーセント程度が、第三者に外注されていますか？
- 報告書は、どのような言語で作成されますか？
- データは手作業で処理されますか？もしくはコンピューターで処理されますか？
- その検査機関は、LIMS(ラボ情報管理システム)を導入していますか？